

不妊治療中の潜在性甲状腺機能低下症及び TSH 高値正常女性に甲状腺ホルモン薬投与を行った場合、分娩後の投与はどうか

承認番号：2024002

1. 研究の対象

2019年1月から2021年12月の期間に生殖補助医療実施医療機関から紹介された不妊女性のうち、未治療の潜在性甲状腺機能低下症(TSH $>$ 4.0 μ U/mL)と正常高値(TSH 2.5~4.0)に対して当院でチラーヂン S 投与を開始し、分娩後直ちにチラーヂン S 投与を中止、分娩後6か月以内に TSH を測定できた女性。

2. 研究目的・方法

目的；不妊治療中の女性の潜在性甲状腺機能低下症及び TSH 高値正常に対しては、チラーヂン S 投与が広く行われている。妊娠した女性の分娩後のチラーヂン S 継続や中止は各医師が経験的に判断しているため、分娩後の TSH 値をもとに分娩後チラーヂン S 補充療法のあり方について調べる。

方法；分娩後初回測定（分娩後2~3か月が91.3%）TSH 値（PP-TSH）を調べ。

研究期間：実施許可日~2025年12月31日

利用を開始する予定日：2024年5月

2. 研究に用いる情報の種類

妊娠週数、出産日、チラーヂン S 内服量、TSH、FT4、TgAb、TPOAb、超音波所見

個人情報の取り扱い：氏名等の特定の個人を識別することができる記述等を削り、測定結果と患者情報を結びつけることができないようにする。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

岡本甲状腺クリニック

〒535-0031 大阪市旭区高殿 4-22-26

TEL:06-6955-6690（研究責任者：塚本 由佳）